

以前竹原市に布教したとき、相好円満の翁の面のような老人が参詣されたから、「お名前は」「浦島です」「信仰の徳がおにあらわれていますね」「どこで判ります」「名利に走るものは鼻の上に縦の川の皺が寄り、老人になれば鬼面のようになり、信仰の厚いものは額に横に流れ川のような皺が寄り、老人になれば童顔になるのです」「私は祖先ががいのので、子供のときから連れられて参詣し、二十頃には夢中になつて参詣していましたが、あるとき伯父が父に意見に来て、お寺には年寄りになつてから参詣するもの、お前の息子はどこの寺に参詣してみても、いつもに出て聴聞しているが、若い者が寺ばかり参らずに仕事したらどうかと注意した方がよいぞ。ありがとう。父が、ちよつと来いと私を呼んだので叱られるのかと思つたら、お前は遠方のお寺までよく参詣するそうだが、ありがたいのう。若い間に聞きぬかねば年が寄つては記憶ができない、実行ができない、子供の教育ができないわが家の目糞ほどの財産はすり潰してもよいから、永久の魂の問題を取失わないように求道してくれよ、寺参りをすれば、財産は殖えても減りはせん。

徳は元、財は末なり 徳積めば

金は自由になるものと知れ

という歌があるが、財産に眼をかけるな、信仰が徹底すれば自然の徳として財産はついて来るのだと父が賛同してくれたので、三里五里の道は厭わないで参詣していました。

こんな広大な無限の喜びの世界があるとは知りませなんだ、私は世界一の果報者になりました。何の苦もなく屈託もありません。子供たちは順調に出世し、孫たちがみな幸福な家庭を持ち、心配事や悔やむことが微塵もなく、財産は年々殖えて、南

無阿弥陀仏称うれば、この世の利益きわもなしで、宗教とはこんな尊いものか、功德の広大なものかと、毎日毎晩感涙に咽んで、家内とともに念仏さして頂いています。

あなたのお説教のように、光に向いて進まして頂いているから、影法師の物質はついて来ます。今ごろの人は精神の徳を積むことを知らないで、物質の得を獲ようと損得ばかり考えて仕事をするから、からん儲からんと走りつづけているから財産は殖えないで苦しみが殖えるのです。私は子供たちに、無形の南無阿弥陀仏には無限の喜びがある、一番幸福になりたい者は早く信仰を得なさいと、いつも話しています」